



並木中等進路だより

後期生

NO.7
JAN 27, 2015

茨城県立並木中等教育学校学習進路部

センター試験速報

6年生のセンター試験が1月17・18日に行われました。大学入試センターの中間発表と各予備校等の集計による予想平均点、そして並木中等6年生の平均点を掲載します。

科目	英記	英リス	国語	数ⅠA	数ⅡB	世B	日B	地B	現社	政経	倫理政経	理科基礎	生物	化学	物理
大学入試センター中間集計	116.2	35.4	119.2	61.3	39.3	65.6	62.0	58.6	59.0	54.8	59.6	-	48.4	59.2	61.6
駿台・ベネッセ予想	116.0	35.0	119.0	61.0	39.0	66.0	62.0	59.0	59.0	55.0	60.0	-	49.0	59.0	62.0
河合塾予想	118.6	-	120.9	63.0	40.6	66.9	62.9	59.0	59.6	55.5	60.7	-	50.1	60.5	63.1
並木6年平均点	157.7	44.6	141.6	73.7	49.5	79.4	70.8	67.2	65.4	68.5	70.0	69.0	63.7	69.8	74.6

大学入試センターの中間発表は志願者約56万人のうち約26万人が対象なので、今の段階では、40万人以上の自己採点情報を集計している駿台・ベネッセや河合塾の予想点数のほうが正確かもしれませんが大差はないようです。科目ごとを見てみると、昨年平均点が5割を下回った国語は今回20点ほどアップしました。一方、昨年よりも平均点が下がったのが数ⅡB、地理B、化学で、それぞれ約10～15点平均点を下げています。7科目型(900点満点)の平均点では、文系は昨年より数点アップし、理系は数点ダウンしました。駿台・ベネッセの集計によると、文系:540点、理系:563点となっています。並木中等生は、各科目の平均点を比べてわかるように、昨年に引き続きどの科目においてもかなり健闘しています。

センター試験はゴールではなくスタート!

センター試験で、とりあえず目標点をクリアした人もいれば、予想外に苦戦を強いられた人もいることでしょう。どちらにとっても**大切なのはこれから**。センター試験はゴールではなくスタートにすぎない。**これからの頑張り次第で逆転することもあれば、逆転されることもある**。「あ～失敗した」なんて思っている人、落ち込んでる暇があったら次への対策を進めよう。**前進あるのみ!**



目標点をクリア ⇒ とりあえず第一段階クリア。しかしこれが入試のスタート。

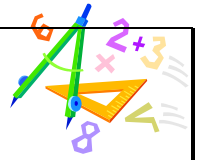
担任の先生と面談をして出願の準備を始めるとともに、2次対策に専念すること。2次対策が不十分だと逆転を許すことにもなりかねない。くれぐれも油断禁物。安心している場合ではない。

目標点に届かず ⇒ あきらめたらそこで終わり。まだまだ勝負はこれから。逆転劇を演じるのはまさに君たちだ。早い切り替えで最後まであきらめないこと。志望校の再検討に入るべきか、初志貫徹するべきかは、担任の先生とじっくり相談すること。今までセンター試験の判定で「D判定」や「E判定」でもみごと合格を勝ち取った生徒を何人も見てきています。大切なのは **Never give up!**



※ 自分のセンター得点を入力して志望校を探すウェブページもありますので参考にしてください。

センターリサーチバンザイシステム(河合塾) **インターネット選太君(ベネッセ・駿台)**



センターチャレンジ & OB・OG ガイダンス 【進路委員コーナー】

センター試験翌日、6年生が自己採点をしているちょうどその時、中等4・5年では国・数・英3教科の「センターチャレンジ」が実施されました。また、センター1日目、5年生に対して卒業生によるOB・OG会も開かれています。今回は5年生の進路委員さんたちに報告してもらいます。

今年のセンターチャレンジは去年とは異なり、大半は授業で出題範囲を習った状態で受けた。実際、満足できるような結果ではなかったけれどもその一日は、自分自身に多くのことをもたらしてくれた。まず、自分の力不足を痛感させられた。センター試験は一発勝負だから、ミスしたら終わり。そんな中での試験だから、**限られた時間の中で後悔しないようにするには基礎から徹底的にできるようにしなければならないんだ**ということ、当たり前のことだが実感させられた。また、去年よりは少しでも成長した自分を感じることができた。今の実力のままじゃまだまだけど、それでも去年の結果よりは伸びてきていた。あと一年という時間の中でどこまでやれるのかは正直まだわからない。だが今回のセンターチャレンジは**これからの一年をどう過ごしていけばいいのか、後悔しない一年を送るための、その方向性を示してくれた**と私は思っている。【5D 西片杏佳さん】

今回、志望校の得点率などを調べた上でのセンターチャレンジだったので、前回までよりもためになるものだった。去年と比べ点数は上がっていたものの、**まだまだ不十分な部分がたくさんあると実感した**。国語と英語に関しては得意不得意がよく分かる結果だった。そのため、**これから苦手をなくしていけるように勉強していきたい**と思う。また、数ⅡBが例年より難しいこともあり点数が取れなかったが、そのような場合でも対応出来るような準備が入試までには必要なのだと感じた。【5C 高原みずほさん】

私にとってセンターチャレンジは有意義なものになりました。4年生の時はただ漠然と受けていたけれど、今回は履修済みの範囲が多かったので本番の目標の点数との差が分かりこれから先の勉強の参考になりました。また実際に解いてみて、時間がなくて解き終わらなかったところがあったので、**これから勉強するときは時間のことも意識しよう**と思いました。少しケアレスミスしただけで、かなり点数を落としたところがありました。このことから、**早く正確に解くことの大切さ**を身に染みて感じました。基礎的な問題で出来なかったところがあったので、**まず基礎をしっかり固めていこう**と思います。【5D 鈴川佳さん】

私は今回のOBOGガイダンスで理学療法士の方と医学部の方のお話を聞きました。理系というイメージのあった医療の大学も受験生は文系も多数いることや、医者や看護師などの仕事の他にも医療に携わる仕事が沢山あることなどとても多くの発見がありました。5年次生になり模試も増え、まだまだ先だと思っていたセンター試験まで1年をきり、受験に関するお話を聞く機会もあり少し焦りもありますが、大学受験のとき**大切なのは志望動機をしっかり持ち、最後まで諦めないこと**だと聞き、入りたい大学に入るためにも、将来就きたいと思っている職業に就くためにも今から頑張ろうと思いました。【5C 植北莉佳子さん】

まず、先輩方の話を聞いて、どの先輩も受験勉強や大学生活において**自分なりの目標をもっていた**ということを感じました。「受験では、**自分に適度に自信を持つことが大事**」と言っていましたが、受験に備えて勉強をしていないと、本番で自信をもつことはできないので、**自分ができる最大限の努力をして本番の試験に臨みたい**と思いました。今までは、大人の方の講演しか聞いたことがなく、あまり受験を身近に捉えることができていませんでしたが、今回は先輩方の話を聞いて、先輩方のように私も頑張ろうと思いました。【5A 相澤夢希さん】

大変忙しい中、私たちのためにお話しに来てくださった先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです。受験生0学期と言われる私たちにとって貴重な1時間でした。最後まで部活を続けながら大学に合格した先輩の話聞き、私も**引退まで頑張ろう**と思いました。そして、**早い時期から受験を意識した勉強**をするようにアドバイスを頂きました。先輩方の様に憧れの大学生になれるようにコツコツ頑張りたいです。【5A 吉永瑛未佳さん】